

令和2年度使用 小学校各教科、中学校各教科（道徳以外）
 教科用図書の選定結果のまとめ
鹿沼市立小中学校教科用図書選定委員会

小学校各教科

教科	選定結果 発行者略称 記号・番号	選 定 理 由
国 語	光村図書 国語 107 108 207 208 307 308 407 408 507 607	<ul style="list-style-type: none"> ・理解力と表現力の育成として、第三学年以上で「読むこと」と「書くこと」の複合単元が設けられており、読むことを生かして、調べたことや自分の考えを文章で表現できるよう工夫されている。 ・伝え合う力の育成として、各学年において「聞く」「話す」「話し合う」内容がバランスよく配置されている。また、対話のスキルが学べる「対話の練習」が設けられている。 ・各単元において、全体を見通す、振り返るなどの場面を設定し、主体的な学びを促している。また、随所にグループでの対話や助言し合う場面が位置づけられており、理解や表現を深められるようにしている。 ・思考力や想像力の育成として、筋道を立てて考える力や豊かに想像する力が養える読み物教材が設置されている ・多様なものの見方・考え方に触れ、自分の考えを広げたり深めたりできるような教材が取り上げられている。また、発達段階に応じた文章構成や論理展開になっている。 ・各単元・教材のねらいを明確にし、身に付けたい力が着実に身に付くように、学年内や学年をわたって、系統的・段階的に位置付けることで、習得と活用が繰り返されるように工夫されている。
書 写	光村図書 書写 104 204 304 404 504 604	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的事項から応用場面へと、段階的に学習できるよう配慮された単元構成になっている。 ・国語の教科書と連動している。 ・導入・理解・確認・活用・振り返りという学習の流れを単元の基本とし、基礎・基本の定着が図れるように示されている。 ・当該学年だけでなく、前学年で学習した漢字も巻末に掲載されている。また、第3学年以上では、配当漢字を硬筆と毛筆の書体で示し、硬筆と毛筆の学習の関連が図られている。 ・第6学年では「書写ブック」があり、身につけた力を国語科や各教科の学習場面や日常生活で生かせるよう工夫されている。 ・文字への興味・関心が高まるよう、漢字の成り立ちを楽しいイラストで解説する「漢字図鑑」が全学年にある。
社 会	日本文教出版 社会 304 404 504 604	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の話合い活動から問題をつくりその問題を解決するために、調べ学習などの具体的な学習活動を通して理解を深め追及し気づくとともに、調べたことや考えたことを表現していく過程が分かりやすく配列されている。 ・社会的な見方、考え方の視点を示す「見方、考え方コーナー」が設けられ、空間、時間、関係の3つの視点に着目して学習を進めることで、対話的で深い学びが実現できるよう工夫されている。 ・オリンピック、主権者教育、持続可能社会などの今日的な課題について取り上げられており、よりよい社会づくりのために参画、貢献しようとする意欲や態度を育てる内容となっている。 ・栃木県の事例として、4年生では那須野原の開拓、6年生では足尾銅山鉱毒事件が取り上げられている。また第4学年では、教材選択の幅を広げることにより、地域の特性に合わせた学習が進めやすいように配慮されている。

<p>地 図</p>	<p>帝国書院</p> <p>地図</p> <p>302</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地図内の地図記号を詳しく説明したり、地名（場所）の探し方を丁寧に解説したりしている。 ・地方別の地図は、土地利用や絵記号がふんだんに使われ、それぞれの県や地域の産業や特産物がよく分かるようになっている。 ・地図上にQRコードが記されており、タブレット等で読み取ることで、地図や解説が詳しく表示され、児童が意欲をもって地図学習に取り組めるようになっている。 ・「日本をながめる地図」「広く見わたす地図」「都道府県を見る地図」「くわしく見る地図」と、地図の使い分けができる。 ・初めて地図学習をする小学生児童が使いやすいよう、「地図のやくそく」「地図帳の使い方」を10ページにわたり丁寧に説明している。 ・地図全般に色調が優しく、誰が見ても目に優しく分かりやすいものになっている。 ・土地利用「市街地・田・畑・果樹園」の色分け表示図、及び高低差色分け「陸の高さ、海の深さ」が、ほぼ全ページに渡り記されている。 ・ページの切れ目に次ページへの案内表示があり、使いやすくなっている。
<p>算 数</p>	<p>東京書籍</p> <p>算数</p> <p>101 102</p> <p>201 202</p> <p>301 302</p> <p>401 402</p> <p>501 502</p> <p>601</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習単元のスタートには「おぼえているかな」のページを配置し、授業もしくは児童自身で既習内容の確認ができるようになっている。 ・つまづき箇所や理解の定着が難しい内容については、スモールステップで理解が深められるような工夫をしたり理解を確認する問題を多く設定したりして、確実に習得できるような配慮がされている。 ・「今日の深い学び」を2年下巻から全巻に配置し、主体的・対話的で深い学びの具体を可視化できるようにしている。 ・算数科の特性を生かした言語活動例が提示してあることで、他者の考えを読み取って説明する活動を通して、筋道を立てて考え表現する力が身に付くよう工夫されている。 ・既習内容を総合的に活用し、統計資料から読み取りや考察をする内容では、複数のグラフから必要な情報を読み取って数学的に分析、考察し、児童の活用する力を高める問題を豊富に取り上げている。 ・全学年にノートづくりの例「算数マイノートをつくろう」が設けてあり、自分の考えや友達の考え、学習の感想などを書く活動を通して、主体的に言語活動ができるように配慮されている。 ・入学当初から5月までの算数学習への取り組みをサポートするため、見開きA3サイズの紙面で問題演習できる冊子が付き、スタートカリキュラムにも丁寧に対応されている。
<p>理 科</p>	<p>啓林館</p> <p>理科</p> <p>306</p> <p>406</p> <p>506</p> <p>606</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びを実現できるように、「見つける」→「調べる」→「ふり返る」の学習過程で、問題解決の力が高まるよう、単元の導入から予想や実験方法・結果・考察・まとめなど、フラッグとラインで示されている。 ・なぜそうなるのかをよく考察してから「まとめ」をすることで、より科学的に考え話し合う活動が展開できるよう「結果から考えよう」が設置されている。 ・単元末の「つなげよう」や単元内の「理科の広場」では、多くの写真を掲載し、理科への関心を高め、有用性を感じられるよう配慮されている。 ・観察・実験は安価な物を活用することで、安全でより成功度の高い方法が取り入れられている。 ・随所に二次元コードがあり、それを読み取ることで前学年までの復習や器具の使い方など、まとめについて写真や動画を見ながら効果的に学習できるように配慮されている。

<p>生活</p>	<p>教育出版</p> <p>生活</p> <p>107</p> <p>108</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・上下巻とも生活科で育成する資質・能力をサイコロで示し、見た人全てに「めあて」がつかめるように工夫されている。 ・各単元にある「なにをかんじたかな」のページでは、学習活動に適した表現活動が例示され、児童が主体的に活動できるよう配慮されている。 ・上下巻ともに「ヒント」や「はってん」、巻末に「学びのポケット」を配置して補足的・発展的な学習につながるよう工夫されている。 ・「まんぞくはしご」で学習を振り返り、「つたえたいな」で学習したことを家庭での活動に発展できるよう配慮されている。 ・身近な地域で生活したり働いたりしている人々と繰り返し関わり、主体的に学習に取り組めるよう配慮されている。 ・地域の特色を生かした活動や、地域の慣習や行事に目を向ける活動・資料が豊富に掲載され、地域の実態に応じた配慮がされている。
<p>音楽</p>	<p>教育芸術社</p> <p>音楽</p> <p>102</p> <p>202</p> <p>302</p> <p>402</p> <p>502</p> <p>602</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教材を指導する際の目安となる、〔共通教材〕に示された音楽を形づくっている要素がページ下に示され、〔共通事項〕を意識した学習の手助けになるように工夫されている。 ・学びの連鎖・他者とのつながりと学び合い・社会や生活への発展が明確に示されており、6年間の系統性ももてるよう工夫されている。 ・音楽づくりでは、児童が、「何を」「どう工夫して」音楽を作ればよいのかという見通しを持てるように、作品例や様々なアイディアの例示がされ、思考・判断しながら、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。また、題材構成や表記の仕方が工夫されており、活動の手順が簡潔に示されている。また、前の学年の学びが次の学年の学びにつながるよう配慮されている。 ・共通教材を「こころのうた」として提示し、説明文や情景写真を掲載することにより、日本の自然や四季の美しさを味わい、感受性を働かせながら歌えるよう配慮されている。
<p>図画工作</p>	<p>開隆堂</p> <p>図工</p> <p>101</p> <p>102</p> <p>301</p> <p>302</p> <p>501</p> <p>502</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各題材において、使用する道具や材料が、発達段階にふさわしいものが見やすく示されている。また、作り方が分かりやすく提示してあるので、教師も児童も安心して造形活動に取り組むことができる。 ・新学習指導要領の資質・能力の三つの柱に基づき、学習のめあてがページ最上部に目立つように端的に示されており、教師も児童も導入時に見通しをもちやすい。また、題材の中心となるめあてが色・下線付きで示され、重点化が図られている。さらに、振り返りのポイントを示し、評価にも役に立つページ構成になっている。 ・基本的な技法や材料、安全事項、製作手順などを枠で囲んで示し、児童が活動を進めていく上での配慮がなされている。掲示の仕方や片づけについても示しており、参考になる。 ・学年の全体構成を見通しをもって視覚的にとらえることができる「カリキュラム編成目次」により、カリキュラム・マネジメントに対応している。 ・教科書紙面に掲載されたQRコードを通して、題材製作の手順やポイント、用具の使い方の動画を見ることができる。
<p>家庭</p>	<p>開隆堂</p> <p>家庭</p> <p>502</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の趣旨が明確に整理され、個に応じた創意ある学習活動が展開できるようになっている。主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、題材を「見つける・気づく」「わかる・できる」「生かす・深める」の3ステップで構成し、「支えられている自分」から「できるようになる自分」へと成長できるよう工夫されている。 ・基礎的・基本的な内容を5年生で、創意工夫を図れる内容を6年生で学習できるような内容構成が工夫され、生活を見つめ直し、生活をよりよくしていこうとする学習展開ができるように配慮されている。 ・題材の導入では、図・表・写真等で、教科の特性や学習の進め方を示し、見通しをもてるよう配慮されている。題材の導入では、フォトランゲージの手法を用いて、児童が想像力を働かせて学習に興味関心をもって取り組めるよう工夫されている。 ・幼児又は低学年の児童、高齢者など異なる世代の人々との関わり、地域の中で生活する視点で題材が構成されている。また、生活の課題と実践については、「レッツ トライ」として課題例が複数紹介されており、児童が家庭や地域で実践しやすいよう配慮されている。

<p>保 健</p>	<p>東京書籍</p> <p>保健</p> <p>301</p> <p>501</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元とも課題が明確になっていて、「気づく・見つける」「調べる・解決する」「深める・伝える」「まとめる・生かす」「学習をふり返ろう」など学習のしかたを明示して展開されているので、学習の見通しが立てやすくなっている。 ・小單元ごとに課題解決型の学習展開となっており、「気づき」から「学習の振り返り」まで学習の流れが明確に示されていることで、指導者、児童の双方にとってわかりやすい構成になっている。また、学習内容に合わせて活用できる書き込み欄があり、児童が主体的に学習し自分の考えを深めることができるよう工夫されている。 ・大単元の最後に、「学習を振り返ろう」のコーナーがあり理解を深めることが期待できる。 ・「解説」「まめちしき」のコーナーなど、豊富な資料から必要に応じて情報が取捨選択できるようになっており、効果的に学習が進められるようになっている。 ・インターネットを活用した学習ができるようにコンテンツが設けられており単元に合わせて活用できるようになっている。 ・わかりやすいレイアウトや親しみやすい絵、写真を取り上げ、学習に意欲的、主体的に取り組めるように配慮されている。
<p>英 語</p>	<p>東京書籍</p> <p>英語</p> <p>501</p> <p>502</p> <p>601</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・内容について、その単元で最も重要な表現がわかりやすく吹き出しになっていて、話すこと(やりとり)が不安なくできるよう配慮されている。各単元の最後には、学んだことを活用するために「Enjoy Communication」のコーナーが見開きで位置づけられていて、児童が見通しをもち、主体的に言語活動に取り組むことができる。 ・別冊「Picture Dictionary」を活用することで、それをヒントにしながらかつ習事項を組み合わせて、発信型の言語活動に自信をもって取り組めるよう構成されている。 ・各ページ下段に示されていることを活用して、表現や語彙を広げたり、既習事項を振り返ったり、本時の学習内容とつながりをもたせたりするなど、本体と別冊を組み合わせた効果的な指導ができるよう配慮されている。 ・全ての単元が「目標」と「流れ」を明確化したスモールステップの4パート(音に出会う・会話に慣れる・コミュニケーションを楽しむ・世界を広げる)で構成されている。 ・「学び方見つけた!」のコーナーでは、発展的な学習として、文の構成や音の強弱などを取り上げており、児童が自ら気付くことを促すよう配慮されている。
<p>道 徳</p>	<p>光文書院</p> <p>道徳</p> <p>108</p> <p>208</p> <p>308</p> <p>408</p> <p>508</p> <p>608</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の趣旨に即して、学年の発達段階に合わせて内容項目の4つの視点が適切に取り扱われている。生活の中での身近な場面を取り上げた教材が多く、自己の経験を振り返ったり、自己投影しながら考えたりしやすい教材が工夫されている。 ・内容項目ごとに、発達段階に即した説明がされており、オリエンテーションが丁寧に行えるように工夫されている。 ・いじめ問題や情報モラルなど現代的な課題に対する指導については、関連資料でも扱うことができ、年間を通して計画的に指導できるよう配慮されている。 ・親しみやすい漫画・アニメーション、実話に基づく教材やアスリートに学ぶ教材が取り入れられ、児童の興味・関心・を引き出し、意欲が高められるよう配慮されている。 ・栃木県に関する教材が充実しており、身近な教材を通して児童の関心を引き出せるよう配慮されている。 ・付録の教材を含め、各学年40の教材が用意され、学校の実態に合わせて重点項目を設定し、教材の選択ができるよう配慮されている。

中学校各教科（道徳以外）

教科	選定結果 発行者略称 記号・番号	選 定 理 由
国 語	光村図書 国語 731 831 931	<ul style="list-style-type: none"> ・各領域の教材がバランスよく配列されている。また、各領域間で相互に関連が図られ、それぞれの領域の学習が他の領域の学習に結びつき、関連的に表現力と理解力の育成が図れるよう工夫されている。 ・発達の段階を考慮し、心に響く作品と視野を広げることができる作品が取り上げられている。文学的文章では、生き方を描いたものが多く掲載され、作品を通して自分自身を見つめられるよう配慮されている。 ・生徒が主体的に学習に取り組み、課題を発見し、考え、解決できるように「学習の見通しをもとう」を設定し、年間を通して身に付けさせたい力を見通し、学習のポイントを一覧にまとめてわかりやすく示している。 ・「情報」の教材を新たに系列化し、「情報活用力」が身につけられるよう情報化社会に対応する情報収集・メディアリテラシー・情報発信についての考えを広めることができる教材を系統立てて配置してある。 ・言語活動の充実を意識して、「話すこと・聞くこと」「書くこと」では、習得から活用への橋渡しになるように、身につける言葉の力を絞って、1ページ1時間で取り組める「練習教材」があり、スモールステップで学習できるようになっている。
書 写	光村図書 書写 735	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な筆使いが、朱薄墨の連続写真で分かりやすく提示され、多くの写真や挿絵を用い、重要な部分は目立つ色で強調して、学習内容がわかりやすく示されている。 ・基礎的・基本的な知識や技能が確実に習得できるよう、生徒の発達段階に応じた適切な教材が精選され、わかりやすく提示されている。 ・「目標」「学習を振り返る」が明示され、見通しをもって学習が進められるようになっている。また、「学習の窓」で基礎・基本が示されている。 ・巻末に「資料編」を設け、日常生活に役立つ実践的な資料や学習をサポートする多彩な資料が収録してある。 ・「基礎編」「学習編」「資料編」の3部構成になっており、「学習編」を軸に相互参照しながら活用できるようになっている。「基礎編」は導入として扱うことで、小学校とのスムーズな接続を図ることができるようになっている。
社 会 (地理的 分野)	帝国書院 地理 727	<ul style="list-style-type: none"> ・1時間ごとの学習課題が明示され、見通しある学習に取り組むことができるよう配慮されている。「世界の諸地域」では、節頭でその地域を表す特色のある写真を数多く配置し、その地域の特色を大観できるよう工夫されている。さらに、その地域をとらえていく主題を追究する活動や学習内容を確認したり、深めたりする活動を通して、地理的な見方や考え方の基礎が培われるよう配慮されている。 ・「世界の諸地域」では、地域ごとのテーマが幅広く設定され、世界的視野から地域的特色をとらえやすいよう配慮されている。地図や写真資料、統計資料やその地域で生活する人々の声を紹介したコラムなど、多様な資料を豊富に掲載し、多面的・多角的に考察することができるよう配慮されている。 ・「やってみよう」では、小学校での内容等を振り返り活用していくよう配慮されている。また、「日本の諸地域」では特設ページ「地域を探ろう」が設けられ、中核とした地理的事象の考察とは別の視点から地域をながめ、多面的・多角的に考察するよう発達の段階に配慮されている。

<p>社 会 (歴史的 分野)</p>	<p>東京書籍 歴史 729</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各時代の導入で写真やイラストがあるため、時代を大観できるように配慮されている。 ・写真や地図、グラフなどが豊富に掲載されている。資料番号が本文中にも挿入され、本文と資料との関係がとらえやすい。また、資料を読み取る際の視点を明確にする配慮がされている。 ・見開きごとの「確認」での要約や説明活動、章末での時代の特色をとらえる活動が設けられ言語活動が十分に行われるように配慮されている。 ・古代から現代までの我が国の歴史を毎時間の課題を基に、政治・人々の生活・文化を関連付けて系統的に学習できる構成になっている。 ・「歴史スキルアップ」や「調査の達人」のページが設けられ、生徒が主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。
<p>社 会 (公民的 分野)</p>	<p>東京書籍 公民 929</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人権について広い視野から認識でき、その学習から民主主義について学べるようになっている。また、現代社会の諸問題について、生徒が自分の問題として受け止め、考えることができるよう工夫されている。 ・毎時間、使用する語句や字数が指定された説明文を作成する課題や、章の導入やまとめの部分に「ためしてみよう」という課題があり、言語活動の充実に配慮されている。 ・時事的な資料や大きな写真、新聞等の資料が豊富で、生徒の関心が高めらるよう配慮されている。 ・はじめに学ぶ「効率と公正」が以後全編を通して具体的事例として取り上げられ、その見方考え方を活用できるよう配慮されている。 ・見開きごとに扱う目安となる時間が示されている。
<p>地 図</p>	<p>帝国書院 地図 724</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭に「地図帳の使い方」が設けられており、一般図、資料図、統計や索引の見方や使い方が定着できるように配慮されている。また、高さごとに色分けした等高段彩表現により、土地の起伏が自然とわかるように工夫されている。 ・「地図をみる目」のコーナーにおいて、全体図、部分図、主題図への読図のポイントを示している。そのため、生徒が読図を通して地理的な見方や考え方の基礎を身に付けることができるよう工夫されている。 ・地域の特徴や文化、生活、産業などが視覚的に大観できる見開きの「鳥瞰図」があり、生徒が地域の特徴を視覚的に捉えることができるよう、工夫されている。 ・主題図「ながめてみよう」が、各地域の全体図と部分図の間に配置されており、生徒が地域を概観しながら地域的特色についての見通しをもち、主題図を活用して地域的特色を考察することができるよう工夫されている。

<p>数 学</p>	<p>東京書籍</p> <p>数学</p> <p>728</p> <p>828</p> <p>928</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な知識・技能の習得のために、段階的なステップを踏んだ内容を扱っており、着実に定着・習得できるよう配慮されている。基本的な問題では、「例」「たしかめ」「問」の配置により、適切な分量での内容理解や演習が行えるよう配慮されている。また、巻末の「補充の問題」を利用することで、個人差に対応して問題量を追加できるよう工夫されている。さらに、補充的な学習や発展的な学習も「もっと学習」や「発展」として取り扱われており、学習をさらに広めたり深めたりできるよう工夫されている。 ・全国学力調査などで課題が見られる内容について、学習内容の系統性を重視し、スパイラルな学習ができるよう丁寧に取り扱われている。 ・事象を数理的に考察する力を高めるために、数や図形の性質を見つけたり、日常生活における問題が取り上げられたりしており、数学の有用性も実感できる内容になっている。 ・数学的活動の楽しさや数学のよさを感じさせるために、見いだす活動・利用する活動・説明し伝え合う活動が取り上げられ、楽しさが味わえるよう工夫されている。 ・多様な考えを伝え合い深めていく言語活動を行えるよう配慮された内容となっており、数学的な思考力や表現力育成の一助となっている。 <p>実生活での数学の活用について、キャリア・環境・防災等、さまざまな内容と関連性をもたせた題材や他教科の学習に関連する題材が扱われており、数学を学ぶ意義や生涯にわたって学び続けようとする態度の育成を意図した内容になっている。</p>
<p>理 科</p>	<p>啓林館</p> <p>理科</p> <p>732</p> <p>733</p> <p>832</p> <p>833</p> <p>932</p> <p>933</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「ふり返り」の項目では、小学校からの既習事項を振り返らせ、課題に対して予想を立てやすくし、さらに観察・実験の「目的」を明示したり、観察・実験の方法を「ステップ」を設けて、取り組みやすいように工夫している。 ・「考えてみよう」や「話し合ってみよう」などの見出しを設け、話し合い活動や発表の場面が展開できるなど、理科における言語活動が活発に行われるように配慮されている。 ・マイノートがカラー刷りで、分かりやすく見やすく配慮されている。また、「実験〇へのアプローチ」「実験〇からのアプローチ」が構成されていて、実験導入や振り返りを確認しやすいように工夫している。 ・青色シートが付属しており、青色シートを利用できることで、学習のまとめの振り返りがしやすい。また、色覚特性への対応ができています。 ・継続観察・観測が、各内容に応じていくつか取り扱われている。 (例) 硫酸銅が水にとけていく様子の観察 ・科学の話題や興味深い活動を扱った「部活ラボ」、「科学偉人伝」、「先人の知恵袋」などが掲載され、理科を学習する有用性がわかるようになっている。
<p>音 楽 (一般)</p>	<p>教育芸術社</p> <p>音楽</p> <p>727</p> <p>827</p> <p>828</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が意欲を持って主体的に学習を進められるよう、各教材において、目標とする学習内容やその方法及び学習に必要な情報を明確に示すなど、適切に工夫されている。 ・「ここが分かればGrade Up!」や「音楽の約束」など基本的・基礎的な学習の定着と向上が図れるよう工夫され、思いや考えを伝える言語活動が十分行える配慮がされている。 ・小学校の共通教材を取り入れ、系統的に発展学習がしやすく配慮されている。 ・表現と鑑賞や、音楽（器楽合奏）との関連が図られ、生徒の興味関心を高め、カラー写真やイラストを多く取り入れることで、生徒がイメージを想起しやすく、音楽の美しさや楽しさを十分感じ取ることができるよう配慮されている。 ・「心通う合唱」では数多くの合唱曲が掲載され、各学年の発達段階や学校・生徒の実態に応じた選択ができるように配慮されているなど、柔軟な指導計画を作成できるよう工夫されている。

<p>音楽 (器楽)</p>	<p>教育芸術社 器楽 774</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・色彩豊かで、カラー写真が鮮明である。曲名や題材が大きく割り付けられ、楽譜が見やすくレイアウトされている。 ・音楽（一般）との関連曲が多く、生徒の興味関心が持てるよう工夫されている。また、各教材において、目標とする学習内容やその方法、及び学習に必要な情報を明確に示すなど、生徒が主体的・創造的に取り組めるよう工夫されている。 ・アルトリコーダーの基礎教材が充実しており、生徒の習熟度に合わせた学習を進めることができる。また、8小節程度の単旋律から、六声部の合奏まで幅広いジャンルが取り上げられ、発達段階や各学校、生徒の実態に応じて教材を選択できるよう工夫されている。 ・「Let's Play Instruments!」は、楽器の特性や基本的な奏法が写真とともにわかりやすく示されており、コラムでは生徒が興味関心をもち意欲的に取り組めるための工夫や、課題解決学習がしやすい工夫がされている。 ・多様な音楽に触れられるよう、クラシックからポピュラー、我が国の伝統音楽、諸外国の民族音楽など様々なジャンルの曲が選曲され、幅広い学習活動ができるよう配慮されている。
<p>美術</p>	<p>日本文教出版 美術 728 828 829</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校3年間を通して、自分を取り巻く生活、自然、社会、環境などを対象に幅広く学習活動が展開できる構成になっている。また、各学年で育てたい力を育成できるよう、題材が意図的に関連づけて構成され、発達段階に応じた指導ができるようになっている。 ・美術との出会いから、生活の中に生きる美術、そして社会に広がる美術と、系統的に題材が意図的に関連づけて構成されていて、各学年で育てたい力を育成できるよう、発達段階に応じた指導ができるようになっている。 ・多様な美術文化を題材や教材として取り上げることで、生活のあらゆる場面に美術の力が働いていることをわかりやすく伝える工夫がなされている。木工や版画についても、浮世絵の制作過程を取り上げるなど、鹿沼の特徴としての版画の学習活動に興味を持って取り組めるものとなっている。 ・各学年の教科書は、A4サイズより横幅があり、見開きの作品には、今までにない迫力がある。2・3上「教科書美術館」では、和紙を使ったページがあり、紙質を変えた原寸大の作品を掲載し、実物に近い作品の雰囲気味わうことができるよう工夫されている。
<p>保健体育</p>	<p>東京書籍 保体 725</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本文の内容に適した図やイラスト、写真などが適切に配置されていて、とても見やすいレイアウトになっている。 ・基本的に見開き2ページが「今日の学習」「やってみよう」「本文・資料」「考えてみよう」「生かそう」で構成され、1単位時間の流れができている。 ・豊富な資料の中でも、特に写真が多く使用されており、生徒の興味・関心を高めるとともに、視覚的に理解を深められるよう構成されている。 ・各項目では、「やってみよう」や「考えてみよう」で教科書に直接書き込んだり、グラフを見て考えたりする資料が掲載されており、学習した内容がさらに深められるよう工夫されている。 ・単元の最後の「章末資料」や「確認の問題」により、学習内容を確認したり、理解を深めたりすることができるよう構成されている。 ・「防災」や「安全」に関する資料が豊富に掲載されており、今日的な課題に対する生徒の意識の高揚が図れるようになっている。

<p>技術・家庭 (技術 分野)</p>	<p>東京書籍 技術 724</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実践的・体験的な学習を通して、基礎的・基本的な内容の定着と生徒の個性を生かす工夫がされている。また、「話し合ってみよう」というマークを明示することで、問題解決的な学習や言語活動を通して取得する思考力、判断力、表現力を育成する工夫がされている。 ・ガイダンスの内容が充実しており、学習内容の見通しが立てやすく、生徒が主体的に学習できるよう工夫されている。4つの領域の内容も、「導入」、「基本」、「まとめ」に分けて構成されている。 ・節の初めに「目標」が示してあり、これをもとに生徒が学習目標を立てやすくなっている。目次もわかりやすく工夫されており、各編には、学習内容のつながりを持たせるために「リンク」「他教科」「小学校」などが示されている。また、「Dマーク」が付いているものは、デジタルコンテンツとの対応がされており、より効果的な学習がされるようになっている。 ・巻頭には、宇宙開発をはじめ、多くの画像が掲載されている。また、ガイダンスでは、「技術は夢をかなえるためにある」、「技術は未来を創る」、「これからの学習を見てみよう」の順序で構成されている。「技術分野の学習を将来に生かそう」では、様々な職場で働く人の思いが掲載されており、生徒に夢や希望を抱かせるような工夫が多数盛り込まれている。 ・巻末の防災手帳は、切り取って使用することができ、防災への備え、防災への取り組みへの一助になるよう工夫されている。
<p>技術・家庭 (家庭 分野)</p>	<p>東京書籍 家庭 724</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に示された目標および内容に準拠し、更に配列は「食生活と自立」から始まっており、本市の多くの学校が「食生活と自立」を1年生で取り上げている実状に適している。 ・巻頭の「ガイダンス」が充実しており、小学校での学習内容を振り返るとともに、中学校3年間での学習の見通しがもてるような工夫をしている。 ・実習や生活実践に必要な基礎技能を分かりやすくまとめて掲示し、章末では基礎的・基本的な知識技能が確実に習得できたかを確認し、振り返る工夫がされている。更に学んだことを自分の生活に生かそうとする意欲を喚起する工夫をしている。 ・免許外の教員による教科指導も多い中で、家庭科ならではの独特の言い回しや名称について説明するページを設けたり、題材の初めには学習目標を明示し、章末には学習内容が身についたかを確認できる項目を設けたりと、生徒が分かりやすく学習を進められるように工夫している。 ・現代社会の課題である「安全」「防災」「環境」「消費者」「伝統文化」について、総合的な取り扱いだけでなく、それぞれ個々の学習場面と関連づけて随所に取り上げ、実践的かつ効果的である。
<p>英 語</p>	<p>三省堂 英語 730 830 930</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・GETの Drillでは、基本文を「聞く→繰り返して言う→書く」活動があり、生徒が段階を経て基本文の定着を図れるよう工夫されている。 ・学習内容の深化、発展に取り組めるように巻末付録や各レッスンの Word Bankが充実している。 ・後見返しに、自分の力を確認できるようCAN-DOリストが掲載されている。 ・日常生活から、生命の尊重、地雷問題、人種差別問題を取り上げるなど、自国を大切に考える考え方と、地球市民としての幅広い考え方の双方を持てるよう題材が配慮されている。 ・「文法のまとめ」ではLessonで学んだ文法事項を確認させ、Projectで年に3回、4技能を統合させた活動を行い、学習内容の定着を図れるよう工夫されている。 ・3年間を通して「会話を続けよう→広げよう→深めよう→導こう」と段階を追って会話表現が身につくようUSE Speakが配置されており、巻末付録にもまとめが掲載されている ・読む活動の補充・深化のため様々なタイプの英文が用意されている。また、読みのヒントとなるTips for Readingが掲載されている。